

2026年度 授業時間割

		月			火			水			木			金			集中講義予定等 (日程等は、決まり次第各専攻HPなどで通知)			
前期前半	1	共通																環境科学研究基礎論 沖野 D102	【環境科学院共通科目】 環境科学総論【日本語】(4月6,7,8日) :山中他 D201	
		起	水循環学特論	佐藤	D102	国際環境保全学総論	沖野他	D102	水循環学特論	佐藤	D102								環境科学総論【英語】(4月6,7,8日):佐藤他 D101	
		地							化学海洋学特論	西岡、渡邊、山下	D101	生態系物質循環学特論	力石・滝沢・ テエヒョンテ	D103	化学海洋学特論	西岡、渡邊、 山下	D101		環境起学特別講義Ⅱ【英語】:5月26日-28日 佐藤(敦)C204-2	
		生	環境分子生物学特論Ⅰ	鷲尾・笠原・ 渡邊・小野・ 山内	低温215				分子生物学基礎論	伊藤・高林・ 菅根・美世	D201、低 温215				耕地科学特論Ⅰ	星野・後藤・ 中村(剛)・ 平田	セン106室	地球科学特別講義Ⅰ(大気海洋物理学・気候力学 コース集中講義):9月に予定 地球科学特別講義Ⅱ(雪氷・寒冷圏科学コース 集中講義):9月に予定		
		物	環境物質科学基礎論Ⅱ	神谷	D103	環境触媒化学特論Ⅰ	中島	D103	環境物質科学基礎論Ⅰ	七分	D103				環境物質科学基礎論Ⅲ	高野	D103	地球科学特別講義Ⅲ(生物地球化学コース集中講 義):9月に予定		
	2	共通		環境科学研究基礎論	沖野	D102													森林園科学特論Ⅰ:高木(健)他(雨龍・中川・天塩 研究林、時期未定)	
		起					環境適応学総論	野呂他	D103	★環境リモートセンシング特論 ☆環境情報地理学特論	Avtar	D102	★環境リモートセンシング特論 ☆環境情報地理学特論	Avtar	D102	環境適応学総論	野呂他	D101	森林園科学特論Ⅱ:中村(誠)他(和歌山研究林、 時期未定)	
		地	大気海洋物理学基礎論	藤原・富田	D201	地球流体力学特論	河谷	D102	大気海洋物理学基礎論	藤原・富田	D201	生態系物質循環学特論	力石・滝沢・ テエヒョンテ	D103	◆大気海洋気候データ解析特論	青木・中村・ 川島	D102		森林園科学特論Ⅲ:揚妻他(FSCIいずれかの研究 林、時期未定)	
		生	動物生態学特論Ⅰ	野田・小泉	D101	海洋生物環境学基礎論	芳村・高木	D101	動物生態学特論Ⅰ	野田・小泉	D101	海洋生物環境学基礎論	芳村・高木	D101					環境物質科学特別講義Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ:時期未定	
		物	環境物質科学基礎論Ⅲ	高野	D103	生物物質科学特論Ⅰ	小野田	D201	環境物質科学基礎論Ⅱ	神谷	D103				環境物質科学基礎論Ⅰ	七分	D103			
	3	起										★環境地理学特論 ☆地生資源学特論	早川	D102				再生可能エネルギー総論	大城	D101
		地	古環境学基礎論	山本・関・ 入野・的場 ・飯塚	D103	大気海洋化学基礎論	鈴木・亀山・ 宮崎	D103	大気海洋化学基礎論	鈴木・亀山・ 宮崎	D103	極域海洋学特論	青木・黒田	D103	古環境学基礎論	山本・関・ 入野・的場 ・飯塚	D103			
		生																		
	4	起	国際環境保全学総論	沖野他	D102															
		地				地球雪氷学基礎論	渡辺(力)他	D101	大気環境科学特論	渡辺(力) 川島	D103	地球雪氷学基礎論	渡辺(力)他	D101						
		生																		
	5	起																		
		地																		
		生																		

【重要】 ◆は令和7年度以降入学者、★は令和8年度以降入学者、☆は令和7年度以前入学者のみ履修可能です。
 授業時間 【1講目】8:45-10:15 【2講目】10:30-12:00 【3講目】13:00-14:30 【4講目】14:45-16:15 【5講目】16:30-18:00
 【A,B,C,D】地球環境科学研究院A・B・C・D棟 【低温2F】低温科学研究所2F講義室(215) 【低温3F】低温科学研究所3F交流ラウンジ(N311) 【セン】北方生物圏フィールド科学センター(以下FSC)庁舎 【セ研】FSC研究棟2F 【苫小牧】FSC苫小牧研究林 【函館】水産学部講義室 【名】FSC北管理部 【雨龍】
 FSC雨龍研究林(母子里) 【天塩】FSC天塩研究林 【中川】FSC中川研究林【室蘭】室蘭臨海実験所 【情報】情報基盤センター
 ※青文字の科目は英語プログラムの授業科目。英語プログラム学生以外も履修可。

2026 前期前半

2026年度 授業時間割

		月			火			水			木			金			集中講義予定等 (日程等は、決まり次第各専攻HPなどで通知)	
前期後半	1	起															環境起学特別講義Ⅰ：山中・佐竹・菅原(時期未定・6-7月の土曜日を予定)	
		地										雷氷水文学特論	白岩・的場・松下	低温2F				
		生	環境分子生物学特論Ⅰ	鷲尾・笠原・渡邊・小野・山内	低温215				分子生物学基礎論	伊藤・高林・菅根・美世	D101、低温215				耕地園科学特論Ⅰ	星野・後藤・中村(剛)・平田		セン106室
	物				環境触媒化学特論Ⅰ	中島	D103	光電子科学特論Ⅱ	堀江	D103				ナノ環境材料化学特論Ⅱ	小西	D103	生物圏科学特別講義Ⅱ：未定	
	2	起				★環境分析化学特論 ☆環境計量学特論	野呂他	D101							★環境分析化学特論 ☆環境計量学特論	野呂他	D101	
		地	海洋力学特論	中村・水田	D102	地球流体力学特論	河谷	D102	大気力学特論	堀之内	D102	雷氷水文学特論	白岩・的場・松下	低温2F	◆大気海洋気候データ解析特論	青木・中村・川島	D102	
		生				生体物質科学特論Ⅰ	小野田	D103	光電子科学特論Ⅱ	堀江	D103				ナノ環境材料化学特論Ⅱ	小西	D103	
	3	起							★環境地理学特論 ☆地生資源学特論	早川	D102				再生可能エネルギー総論	大城	D101	
		地										極域海洋学特論	青木・黒田	D103				
		生	植物生態・多様性生物学特論Ⅰ	相場	D102													
	4	起																
		地							大気環境科学特論	渡辺(力)・川島	D103							
		生	植物生態・多様性生物学特論Ⅰ	相場	D102													
	5	起				★実践環境科学総論 ☆実践環境科学総論Ⅱ	山中	D103										
		地																
生																		

【重要】◆は令和7年度以降入学者、★は令和8年度以降入学者、☆は令和7年度以前入学者のみ履修可能です。
 授業時間 【1講目】8:45-10:15 【2講目】10:30-12:00 【3講目】13:00-14:30 【4講目】14:45-16:15 【5講目】16:30-18:00
 【A,B,C,D】地球環境科学研究院A・B・C・D棟 【低温2F】低温科学研究所2F講義室(215) 【低温3F】低温科学研究所3F交流ラウンジ(N311) 【セン】北方生物圏フィールド科学センター(以下FSC)庁舎 【セ研】FSC研究棟2F 【苫小牧】FSC苫小牧研究林 【函館】水産学部講義室 【名】FSC北管理部 【雨龍】FSC雨龍研究林(母子里) 【天塩】FSC天塩研究林 【中川】FSC中川研究林【室蘭】室蘭臨海実験所 【情報】情報基盤センター
 ※青文字の科目は英語プログラムの授業科目。英語プログラム学生以外も履修可。

2026 前期後半

2026年度 授業時間割

		月	火	水	木	金	集中講義予定等 (日程等は、決まり次第各専攻HPなどで通知)										
後 期 前 半	1	共通	環境科学研究基礎論	沖野	D102							環境科学研究基礎論	沖野	D102	環境科学基礎論：(10月1,2,5日) Garcia Molinos (D201)		
		地		海洋生物地球化学特論	西岡、渡邊、山下	D101	生物地球化学基礎論	鈴木・亀山・宮崎	D102	生物地球化学基礎論	鈴木・亀山・宮崎	D102	海洋生物地球化学特論	西岡、渡邊、山下	D101	海洋生物圏環境科学特論Ⅰ：芳村・高木(9月30日～10月2日、5日～9日)(D101)	
		生	環境分子生物学特論Ⅱ	田中・山口・三輪・堀	D101、低温215			環境分子生物学特論Ⅱ	田中・山口・三輪・堀	D101、低温215						森林園科学特論Ⅳ：吉田(俊)他(10月に開講予定)	
	物	ナノ環境材料化学特論Ⅰ	神谷	D103	環境物質科学基礎論Ⅲ	小野田	D103	環境物質科学基礎論Ⅱ	廣川	D103		環境物質科学基礎論Ⅰ	加藤	D103			
	2	起		自然環境学総論	露崎・根岸・佐藤	D101			環境科学英語ライティング特論	Renner	D102	自然環境学総論	露崎・根岸・佐藤	D101			
		地	海洋力学特論	中村・水田	D102	気候変動特論	谷本	D102	大気力学特論	堀之内	D102						
		生	動物生態学特論Ⅱ	野田・揚妻・小泉・岸田・大館・笠田	D101			動物生態学特論Ⅱ	野田・揚妻・小泉・岸田・大館・笠田	D101			耕地園科学特論Ⅱ	河合・星野・後藤	セン106室		
	物	環境触媒化学特論Ⅱ	高草木	D103	生体物質科学特論Ⅱ	梅澤	D103	光電子科学特論Ⅰ	ビジュ	D103	分子環境学特論Ⅱ	専攻全教員	D103	ナノ環境材料化学特論Ⅲ	八木	D103	
	3	起	気候変動影響特論	佐藤他	D103	環境保全学特論	露崎	D102	流域環境学特論	根岸他	D102	流域環境学特論	根岸他	D102	環境保全学特論	露崎	D102
		地		生態系環境科学特論	カ石・滝沢・チェヒョンテ	D103	寒冷圏気象・気候学特論	渡辺(カ)飯塚	低温2F				古気候学特論	山本・関・岩崎	D103		
		生	植物生態・多様性生物学特論Ⅱ	工藤(岳)	A809												
	4	起	気候変動影響特論	佐藤他	D103	国際科学コミュニケーション法特論	Garcia・Greve・Avtar	D102			応用生態学特論	先崎	A809	応用生態学特論	先崎	A809	
		地	水河・水床学特論[一般水河学]	杉山・Podolskiy・箕輪	低温2F	生態系環境科学特論	カ石・滝沢・チェヒョンテ	D103	寒冷圏気象・気候学特論	渡辺(カ)飯塚	低温2F	理論雪氷学特論	Greve	低温313	古気候学特論	山本・関・岩崎	D103
		生	植物生態・多様性生物学特論Ⅱ	工藤(岳)	A809			北方生態系の生物多様性基礎論	工藤(岳)他					北方生態系の生物多様性基礎論	工藤(岳)他		
	5	起		実践環境科学特論	根岸	D103											
地																	
生		多様性生物学基礎論【日本語】	小泉他	D101	生態遺伝学特論Ⅰ	越川・内海	D102	多様性生物学基礎論【日本語】	小泉他	D101	生態遺伝学特論Ⅰ	越川・内海	D102	フィールド科学基礎論	四ツ倉他	D102	
物																	

【重要】
 授業時間 【1講目】8:45-10:15 【2講目】10:30-12:00 【3講目】13:00-14:30 【4講目】14:45-16:15 【5講目】16:30-18:00
 【A,B,C,D】地球環境科学研究院A-B-C-D棟 【低温2F】低温科学研究所2F講義室(215) 【低温3F】低温科学研究所3F交流ラウンジ(N311) 【セン】北方生物圏フィールド科学センター(以下FSC)庁舎 【セ研】FSC研究棟2F 【苫小牧】FSC苫小牧研究林 【函館】水産学部講義室 【名】FSC北管理部 【雨龍】FSC雨龍研究林(母子里) 【天塩】FSC天塩研究林 【中川】FSC中川研究林【室蘭】室蘭臨海実験所 【情報】情報基盤センター
 ※青文字の科目は英語プログラムの授業科目。英語プログラム学生以外も履修可。

2026 後期前半

2026年度 授業時間割

		月	火	水	木	金	集中講義予定等 (日程等は、決まり次第各専攻HPなどで通知)										
後期後半	1	起						水圏科学特論Ⅰ【日本語】:仲岡他(時期未定) 水圏科学特論Ⅰ【英語】:仲岡他(時期未定)									
		地															
		生															
	物	ナノ環境材料科学特論Ⅰ	神谷	D103	環境物質科学基礎論Ⅲ	小野田	D103	環境物質科学基礎論Ⅱ	廣川	D103		環境物質科学基礎論Ⅰ	加藤	D103	水圏科学特論Ⅱ:南他(時期未定) 生物圏科学特別講義Ⅰ:時期未定 生物圏科学特別講義Ⅱ:時期未定		
	2	起	環境汚染比較特論	Liu	D102			環境汚染比較特論	Liu	D102	環境科学英語ライティング特論	Renner	D102				
		地				気候変動特論	谷本	D102									北極域総論:(時期未定)
		生	海洋生物圏環境科学特論Ⅱ	井尻	函館			海洋生物圏環境科学特論Ⅱ	井尻	函館				耕地圏科学特論Ⅱ	河合・星野・後藤	セン106室	
		物	環境触媒化学特論Ⅱ	高草木	D103	生体物質科学特論Ⅱ	梅澤	D103	光電子科学特論Ⅰ	ビジュ	D103	分子環境学特論Ⅱ	専攻全教員	D103	ナノ環境材料化学特論Ⅲ	八木	D103
		起				寒冷陸圏環境学特論	石川	D102						寒冷陸圏環境学特論	石川	D102	
	3	地															
		生															
		物															
	4	起				国際科学コミュニケーション法特論	Garcia・Greve・Avtar	D102									
		地	氷河・氷床学特論[一般氷河学]	杉山・Podolskiy・箕輪	低温2F						理論雪氷学特論	Greve	低温313				
		生															
5	起				実践環境科学特論	根岸	D103										
	地																
	生	生態学基礎論	越川他	D102	生態遺伝学特論Ⅱ	越川・吉田	D102	生態学基礎論	越川他	D102	生態遺伝学特論Ⅱ	越川・吉田	D102	フィールド科学基礎論	四ツ倉他	D102	
物																	

【重要】
 授業時間 【1講目】8:45-10:15 【2講目】10:30-12:00 【3講目】13:00-14:30 【4講目】14:45-16:15 【5講目】16:30-18:00
 【A,B,C,D】地球環境科学研究所A・B・C・D棟 【低温2F】低温科学研究所2F講義室(215) 【低温3F】低温科学研究所3F交流ラウンジ(N311) 【セン】北方生物圏フィールド科学センター(以下FSC)庁舎 【セ研】FSC研究棟2F 【苫小牧】FSC苫小牧研究林 【函館】水産学部講義室 【名】FSC北管理部 【雨龍】FSC雨龍研究林(母子里) 【天塩】FSC天塩研究林 【中川】FSC中川研究林【室蘭】室蘭臨海実験所 【情報】情報基盤センター
 ※青文字の科目は英語プログラムの授業科目。英語プログラム学生以外も履修可。

2026 後期後半